

(別紙)

仕様書

1. 業務名称 独立行政法人農林漁業信用基金会計システムの機能改修業務

2. 業務目的

本業務は、独立行政法人農林漁業信用基金で運用している独立行政法人農林漁業信用基金会計システム(以下「基金会計システム」という。)で使用するサーバー更新によるOSバージョンアップに伴い、基金会計システムで使用しているデータベースソフトのバージョンアップを図るものとし、バージョンアップに対応する現在稼働中の基金会計システムの各機能と同一の画面・帳票・DB連携等の操作性を保持した基金会計システムのプログラム改修を行い、常時最良な環境下で会計事務を行えるようにすることを目的とする。

3. 業務内容

(1) データベースソフトのバージョンアップに伴う機能改修

- ① 現在稼働中の「基金会計システム」の機能を損なうことなくソフトウェアの改修を行うものとする。
- ② 農業、林業、漁業、農業災害、漁業災害及び共通整理の区分経理で稼働する予算業務、収入業務、支出業務、振替業務、会計業務、出納業務、決算業務、差引計算業務、業務連携業務、マスタ保守、システム管理の関連プログラムの機能改修を行うこと。
- ③ サーバー更新に伴い基金会計システムのシステム設定及び確認を行うこと。
- ④ サーバー構築(ハードウェア、ミドルウェア設定)のハードウェア業者と協議し、基金会計システムを構築すること。

(2) 会計情報の保有年限拡張(現行10年分→20年分)

- ① 「メインメニュー画面」にある事業年度の保有年限を20年分に拡張すること。
- ② 会計データ(平成16年度)を再投入すること。

(3) 上記(1)及び(2)の作業後の基金会計システムの動作検証(現行のシステム動作と同じ動作が保証できること)

(4) 現行基金会計システムで管理しているデータの更新機種への移行

4. 仕様要件

- ① 既存「Oracle11g R1」から「Oracle11g R2」へのバージョンアップを行うこと。
- ② 基金会計システムのサーバープログラム(ストアードプロシジャー)について「Oracle11g R2」に対応する機能改修を行うこと。
- ③ 基金会計システムのサーバープログラム(ストアードプロシジャー/パッケージプログラム)と整合性をとった、画面・帳票プログラムの機能改修を行うこと
- ④ Microsoft (R) Windows7 Professional (SP1)、Excel 2013 クライアントに対応し、基金会計システム構成モジュール(OCX:SPREAD、InputMan)について、Windows7Professional (SP1) 対応を図ること。

- ⑤ 「メインメニュー画面」にある事業年度の保有年限を20年分に拡張すること。
- ⑥ 会計データ(平成16年度)を再投入すること。

5. 試験、立会い検査及び品質保証

(1) 一般事項

本仕様書で規定する機能改修要件について、試験及び検査を行うこと。

(2) 品質検査

現使用環境において、現行機能の保持を確認する品質検査を行うこと。

(3) 品質保証

納入後1年以内に生じた機能障害については、本仕様書に所定の要求項目を満足するように処置すること。

6. 納入

(1) 納入及び動作確認期限

平成27年3月31日(火)

(2) 納品物件

改修したソフトウェア一式は、基金運用稼動環境に組み込むとともにCD-ROMで納品すること。

- | | |
|-------------|----|
| ① 機能改修報告書 | 一式 |
| ② 納品検査書 | 一式 |
| ③ 機能改修モジュール | 一式 |

(3) 納入場所

〒101-8506 東京都千代田区内神田1-1-12 コープビル5階
独立行政法人農林漁業信用基金 総務部経理総括課(担当:前多、関)

7. 必要な測定器、ソフトウェアの確保

- (1) 作業場所、本ソフトウェアの試験及び動作確認に必要な機器、ソフトウェア等は請負者が用意すること。
- (2) 基金会計システムの改変許諾及びソースコードの入手に必要な手続きは請負者が責任をもって行うこと。

8. その他

- (1) 本仕様書に疑義が生じた場合又は本仕様書の内容を変更する必要がある場合には、当基金と協議の上、速やかに解決を図ること。その際の決定事項は、受注者が打合せ議事録を作成し、当基金の承認を受け発効する。なお、この打合せ議事録は本仕様書に優先する。
- (2) 改修及びデータ移行作業に当たっては、当基金担当者と十分打合せを行った上で実施すること。

以 上